

(前ページより)した団体に対して支援料を支払うこととし、その子どもたちの発表会として開催することにしました。

10月から実行委員会を開催し、準備を進めてきています。

当面の問題は、イメージチェンジして初めての取り組みなので、どのような内容で実施できるかという、内部でのイメージづくりの問題です。もちろん、子どもが1人しか参加していない団体もあるため、子どもたちだけの出演というわけにもいかないということもあり、大人の方の参加も考えています。

また、今まで賛助金を島の多くの方々からいただいていたのですが、従来の大人メインが子どもメインに変わったということで、今まで通りのお願いができるかどうかという点もあります。今までは、熟練した大人の発表でしたが、将来を背負って立つ子ども達(後継者)を育てるための発表会ということをご理解いただき、引き続きのご協力をお願いしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。賛助金の額が少なくなると、町からの補助金が減額になるということもありますので、ご支援をお願いいたします。

実行委員会としては、開催当日まで、あと2ヶ月半ほどになっていますが、無事成功裏に終わられるようにと考え、準備を進めています。子どもたちの活躍と、それを支える島内の伝統芸能を継承している団体の方々を期待しております。今までとは内容が変わりますが、子どもたちと、それを支えて指導している島内各団体の方の演技を是非見に来ていただきたいと思っております。



### 「八丈町文化功労表彰」を受けて 菊池加代子



この度「文化功労賞」を頂きまして誠に有り難うございました。長年支えてくれた家族、音楽仲間共々大変喜んでおります。

平成2年に八丈島へ嫁にまいりまして、その年から文化フェスティバルに参加させて頂き、今年で29回目。文フェス最多出場者だそうです。翌年から始めました八丈混声合唱団も、来年は30周年となります。姑の菊池規美子が練習場を作ってくれ、金城雅子先生がお仲間を集めて下さり、山下巧団長の無私の努力によって長年和気藹々と楽しく音楽活動を続けてまいりました。

その他音楽教室やコンサート等、声楽家としての活動も続けさせて頂き、誠に回りの皆様に恵まれた幸せを心より感謝致しております。

今後もお仲間の皆様共々、仲良く音楽活動に努力精進してまいりたいと存じます。今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。



### <1月~3月のイベント予定> (協会主催・後援、加盟団体主催・出演等)

※協会主催・後援、協会加盟団体の催しを中心に掲載しています。その他の催しは八丈島文化協会サイト内の「八丈島イベントカレンダー」をご参照ください。

1月19日(日) 八丈島文化フェスティバル ◇ 舞台部門 多目的ホール「おじゃれ」  
◇ 作品展部門 1月13日(月)・祝~19日(日) 町民ギャラリー  
◇ 手作りワークショップ 18日(土) 商工会研修室

1月25日、2月8日、15日、29日(土曜日) 第14回八丈島歴史セミナー  
1月25日は旧末吉小学校集合、2月8日は八丈島歴史民俗資料館集合(野外)、他は商工会研修室

2月18日(火)19日(水) 第77回八丈島民大学講座 七島信用組合2階ホール

3月8日(日) 自然っ子、八丈小島体験事業

3月15日(日)予定 八丈島芸能文化祭 八丈高等学校視聴覚ホール(予定)

※3月のミュージックスクール We 発表会日程は未定

### 富士見地区公会堂管理事務所 年末年始閉館のお知らせ

年末年始は富士見地区公会堂が閉館となります。ホール及び会議室の利用を休止させていただくほか、携帯電話による公会堂の申し込み予約及び受付もお休みさせていただきますので、あらかじめご了承ください。  
年末年始閉館期間 12月28日(土)~1月5日(日)

# 八丈島文化協会 会報 第31号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833  
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: [bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp](mailto:bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp)

2020年1月

## 2020年 令和2年年頭のご挨拶

八丈島文化協会 会長 山下和彦



新年あけましておめでとうございます。

令和になって初めてのお正月です。八丈島文化協会も発足9年目になります。この1年間の皆様の、八丈島文化協会へのご協力・ご支援ありがとうございました。

元号令和の意味を調べてみました。万葉集にある「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は彌後の香を薫らす」(初春の2月(何をしても良い月である)、空気もよく風はおだやかで、梅は鏡の前の美女の白粉のように白く開き、蘭は身に着けた香のように薫っている。何と、幸せと喜びを感じる情景であろうことか)から引用したということです。日本の書物からの引用は初めてのことであり、「令」と「和」の解説もみなさん調べてみてください。

八丈島文化協会は、本年もメイン事業の、八丈島文化フェスティバル、JAZZ フェスティバル、芸能文化祭、島民大学講座、子ども文化体験事業、八丈小島体験事業等の主催団体として、活動していきます。これらの事業についても、現実合ったやり方に見直して行く必要が出て来て、少しずつ改善を図っています。島内の文化関係団体等への支援や協力も行っています。また、協会への島内外からの問い合わせなど、対応しなければならないことも増えてきて、嬉しいことですが、仕事が増えることへの対策も迫られています。

令和元年度も残り3ヶ月です。1月19日は第31回八丈島文化フェスティバルが開催されます。この運営についても、参加者の方々にも仕事を分担してもらって行えるように、実行委員会を作って次回につないでいく計画です。3月の15日に開催予定の芸能文化祭も、伝統芸能の継承を基本に、子ども特に小学生中心に声かけしての練習を、各伝統芸能保存団体をお願いして、その発表の場として行います。

今年も、八丈島文化協会へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 第31回八丈島文化フェスティバル 新たなスタート!

昨年、記念すべき30回を迎えた文化フェス。今年は組織体制を見直し、新たなスタートを切りました。島の文化団体や文化愛好家の発表の場であり、交流の場であるという原点に立ち戻り、31回は、出演団体・出展者が中心となって企画や運営を行い、それを文化協会が補佐するという形で、本番にむけて活動しています。たくさんのアイデアやパワーが結集し、これまで以上に島民のみなさまに楽しんでいただけるフェスになると思います。ぜひ、会場にお越しいただき、「新生文化フェス」を一緒に盛り上げてください。お待ちしております。

### ◆ 舞台部門 1月19日(日) 10時~17時 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

※時間は目安です。前後することもありますので余裕をもってお出かけください。

10:00~ ①大賀郷中音楽部 ②八丈太鼓 月曜会 ③八丈民謡保存会(加茂川会)

11:25~ ④日本民謡 朝元会 ⑤コウリマ ナニ エ(フラ) ⑥Gold Breath(演奏)

13:30~ ⑦フラメンコサークル ⑧檜之扇会(日本舞踊) ⑨千田美鈴 ソプラノ独唱

※ 次ページに続く



※ 前ページからの続き

- 14:40～ ⑩八丈混声合唱団 ⑪Heat up (ヒップホップ) ⑫声楽アンサンブルConAnima
- 15:50～ ⑬八丈島Soka 栄光バンド ⑭ピアノカマン (鍵盤ハーモニカ) ⑮M-isle Ballet (クラシックバレエ)

◆ 作品展部門 1月13日(月・祝)～1月19日(日) 9時～17時 町民ギャラリー

大賀郷中美術部、沖山みさと(装身具・ジュエリー)、奥山りさ(手芸)、加納顕史朗(鉄道模型)、木下恵美(クラフト・写真)、貞光純一(陶芸)、雑貨屋らみ(ガラス細工)、東海林ミモザ(刺繍作品)、長山雅世(絵画)、八丈の布絵本 結 ゆい、林冬人写真事務所、湊直子(和服から洋服へのリフォーム)

「今日も嫌がらせ弁当」上映会 参加観客数823名

9月21日・22日に映画「今日も嫌がらせ弁当」の上映会を、多目的ホール「おじゃれ」で計4回開催し、延べ823名の方に映画を見ていただくことが出来ました。

事の始まりは7月に行われた文化協会の理事会でした。その時にこの映画を上映する為の経費等が報告され、文化協会主催で上映会の実施が検討されました。しかし、「現状では他の主催事業で忙しく、文化協会主催として上映会をやるのは難しい」という結論になりました。そこで、個人として活動することを了承していただき、上映会開催に向けて活動を始めることになりました。

まず、今回の映画製作について島で中心となっていた、商工会の会長である間仁田聡さんに相談し、そして、観る会のメンバーには、商工会や八丈島フィルムコミッションの関係者、そして文化協会の理事の皆様にも沢山入っていただき、活動を開始しました。「映画『今日も嫌がらせ弁当』を八丈で観る会」(以下、観る会)という有志の会を立ち上げることになりました。

ところが、上映会に向けての準備段階で多方面とやり取りをする中で、商工会や文化協会の組織としてのご協力が必要になり、最終的には文化協会・商工会・観る会の三者の共催という形で、実施することになりました。

上映会当日は、原作者のkaoriさんや東京から塚本監督も駆けつけて下さり、舞台挨拶に華を添えて下さいました。また、関西テレビ様・観光協会様・製菓やたけ様から賞品を頂き実施した抽選会も、盛り上がりました。

大変お忙しい中、結局振り回してしまった文化協会の理事の皆様をはじめ、沢山の方々のご協力を得て、上映会を開催することが出来ました。映画もご来場下さった皆様にとっても好評で、上映した甲斐がありました。

ご協力下さった皆様、映画を観に来て下さった皆様、本当にありがとうございました。(文化協会監事 菊池孔介)



第96回 “あびの実” 子ども招待公演

ミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」 俳優館

2019年10月5日(土) 三根小学校体育館 午後3時開演

10月だというのにカーテンを開けた体育館は30度を超え、その暑さの中、約180人の観客が来てくれました。多分多くの子どもたちが楽しみにしてくれている無料招待公演。

今回は、誰もが知っている「ヘンゼルとグレーテル」です。

俳優館は、このお話を“今も変わらぬ家族の物語として”描くといひます。

一体どういう風にアレンジしているのでしょうか。

ヘンゼルー家は超忙しいパン屋さんでした。

仕事に追われ、子どもたちにかまう暇もなく、食事はいつも店のパン、たまにはご飯を食べたいよー、と子どもたちは文句たらたらです。挙げ句の果てに、両親を困らせようとばかりに禁断の森に入ってしまうのです。

魔法使いは愛嬌のあるおじさんキャラ、ちっちゃい子以外は怖くなかったよね。

食いしん坊のヘンゼルは捕まってしまうですが、グレーテルは妖精の指南を受け、お手伝いさんとして入り込みます。そして最後は魔法使いを大鍋に落っこし、お父さんお母さんと再会し、めでたしめでたし。

一緒にはらはら、一緒に笑った、かわいい楽しい「ヘンゼルとグレーテル」でした。



七信TV会議システムで、大島でも同時に受講 第77回八丈島民大学講座

首都大学東京との共催で行う夏の八丈島民大学講が9月7日(土)午後7時から、七島信用組合八丈島支店2階ホールで開かれました。二夜連続の計画でしたが、8日(日)は台風15号接近のため講師が来島できず中止となりました。

7日は首都大学東京プレミアム・カレッジの山田幸正特任教授から「中世ゴシック建築はどこから来たか」をテーマに、美しい尖塔をもつ西欧の教会堂や城郭建築、特にそのアーチや梁などの構造が、十字軍や修道院などが12世紀地中海世界で出会った中東イスラーム建築に強く影響されたものであることを事例とともに学びました。受講者40人。

予定では、7日に同大学松本淳教授による「気候変動と私たちの暮らし」を計画していましたが、7日に来島していた山田教授の講座を繰り上げて実施し、「気候変動」は次年度へ持ち越すことになりました。

今回は、特に七島信用組合のテレビ会議システムを使って、伊豆大島でも同時に10人が受講しました。大島からの質問に八丈から答える場面もあり、ICT(情報通信を利用したサービスの総称)の時代を実感する講座となりました。(伊藤宏)



「遺伝子で探る日本人のルーツ」 第78回八丈島民大学講座の計画決まる

日時: 2020年2月18日(火)・19日(水) 午後7時～8時30分

会場: 七島信用組合八丈島支店 2階 ホール

テーマ: 日本人はどこから来たか - 遺伝子で探る日本人のルーツ -

講師: 国立科学博物館副館長 篠田謙一 先生 (分子人類学)

内容: DNA分析技術の発展によって、現在では縄文人や弥生人の骨からもDNAを回収して分析することができるようになっています。この講座では、古代人のDNA分析によって明らかになった日本人の起源と成立について説明します。

参加費: 無料 (賛助会費 1口=500円)

主催: 八丈島文化協会 後援: 八丈町教育委員会 協賛: 七島信用組合八丈島支店

<講師紹介> 講師の篠田先生は、1955年静岡県生まれ。1979年京都大学理学部卒業後、佐賀医科大学助教授を経て、国立科学博物館人類研究部人類史研究グループへ。

日本とその周辺や中南米の諸国の古代人の人骨試料などに残っているミトコンドリアDNAを分析して、過去における集団の移動や拡散、あるいはその起源について研究し、日本人の起源と新大陸における集団の成立について研究。

<主な著書> 『新版 日本人になった祖先たち DNAが解明する多元的構造』(NHKブックス)2019、『江戸の骨は語る一甕の宣教師シンドッチのDNA』(岩波書店)2018、『ホモ・サピエンスの誕生と拡散』(洋泉社歴史新書)2017、『DNAで語る日本人起源論』(岩波現代全書)2015など。

連絡先: 八丈島民大学講座運営委員会事務局 八丈町榎立163 伊藤 携帯電話090-8036-1826

今年度は子どもたちが光輝く芸能文化祭を開催

八丈島文化協会の主催行事であり、第7回を迎える、八丈島芸能文化祭を開催します。

○日時・会場(予定): 2020年3月15日(日) 13:30～ 八丈高等学校視聴覚ホール

○発表内容: 郷土芸能団体に参加して学んだ子どもたちと、それを支えた人たちの発表

前回の会報でもお知らせしましたが、従来行ってきた芸能文化祭は、実行委員会の負担が大きく、会場使用料や技術者の費用がかかるといったことで、なかなか運営が難しい現状でした。そこで、今年度は、大幅に考え方を改めて、子どもたちが、島内で行われている八丈太鼓など八丈の伝統芸能の練習会に参加した場合、子どもたちの参加費と指導 (次ページへ)

